

## 優 秀 工 事

### ○工事に関する事項

1. 工 事 番 号 2 邇建土第 148 号
2. 工 事 名 称 1きゅうしどうふかえつつきせんほそうこうじ  
1級市道深江筒城線舗装工事
3. 施 工 場 所 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触
4. 工 期 令和2年12月25日 ～ 令和3年3月30日
5. 契 約 額 ￥16,325,100-
6. 工事成績評定点 **79.0** 点
7. 工 事 概 要 工事延長 L=191.0m (346.0m)  
アスファルト舗装 A=1760.0 m<sup>2</sup>、区画線工 (実線) L=410.0m  
区画線工 (破線) L=75.0m

### ○施工業者

1. 商号又は名称 い き ど ぼ く こう ぎ ょう  
壱岐土木工業 株式会社
2. 代 表 者 名 代表取締役 やまうち ふみひと  
山内 史仁
3. 住 所 長崎県壱岐市芦辺町中野郷本村触 800 番地

### ○現場技術者

1. 氏 名 たていし かずや  
立石 一弥

### ○優秀工事として推薦する理由

本路線は、特別史跡「はる つじいせき原の辻遺跡」の沿線にある市道であり、文化財保護法の適用区域であることから、施設に悪影響を与えないよう慎重な施工が求められる工事である。

舗装工事は、いかに精度よく平坦性を確保するかが最大の課題であるが、情報化施工技術として、新工法のレベリングセンサーをアスファルトフィニッシャーに装着させ、計画高と現況高の差を自動で算出し、そのデータに併せて機械を自動制御させ、高品質で平坦性の極めて高い構造物を完成させた。

また、各種打合せの場面で、空撮写真を活用した資料は工夫がみられ、円滑な協議ができたことで工程の短縮にも繋がった。

さらに、その他の管理項目についても、他業者の模範となるような管理が適切に行われていた。

# 計画平面図

令和2年度工事延長  $L=191.0(346.0)m$   
 $L=191.0(191.0)m$   $W=5.5(7.0)m$

アスファルト舗装工  $A=1730.0m^2$   $A=1760.0m^2$   
 区画線工 実線 ( $W=15cm$ )  $L=400.0m$   $L=410.0m$   
 区画線工 破線 ( $W=15cm$ )  $L=75.0m$

車線分離構設置  $\phi 80$  H=800 @4000 N=27,0箇所

緑化工  $L=12.0$   $L=14.0$   
 現場FTL型側溝  $L=12.0$   $L=14.0$

車線分離構  $\phi 80$  H=800 @3000 N=12,0箇所  
 地先境界ブロック設置  $L=42.0m$   $L=0.0m$   
 現場FTL型側溝撤去  $L=42.0m$   $L=0.7m$

更正

年度	令和2年度
工事名	1級市道深江筒城線舗装工事
施工箇所	巻枝市 声辺町 深江鶴亀触
図面種類	計画平面図
縮尺	S=1:500
図面番号	10葉の内1号



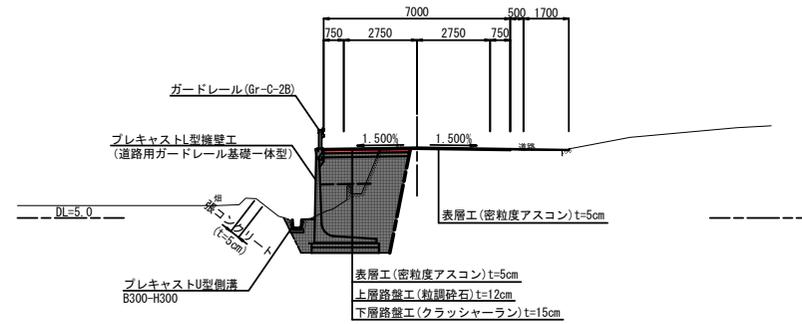
# 標準横断図

S=1:100

設計条件 (深江筒城線)	
道路規格	第3種第4級
設計速度	V=30km/h

## 【起点区間】

NO. 2+0.00付近



### 表紙

年度	令和2年度
工事名	1級市道深江筒城線舗装工事
施工箇所	巻岐市 声辺町 深江鶴亀触
図面種類	標準横断図
縮尺	S=1:100
図面番号	10葉の内3号
 長崎県巻岐市	

No.0+3.455

NO.17+10.000

# 着工前



No.0+3.455

NO.17+10.000

# 竣工



NO. 0+3.455~NO. 2

着工前・竣工

着工前

着工前



NO. 2~NO. 4

着工前・竣工

着工前

着工前



NO. 4~NO. 6

着工前・竣工

着工前

着工前





NO. 0+3.455~NO. 2

着工前・竣工

竣工



NO. 2~NO. 4

着工前・竣工

竣工



NO. 4~NO. 6

着工前・竣工

竣工

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況

工 事 番 号	2巻建土 第148号	請 負 者 名	吉岐土木工業株式会社
工 事 名	1級市道深江筒城線舗装工事		
項 目	評 価 内 容	備 考	
<input checked="" type="checkbox"/> 高度技術  工事全体を通じて他の類似工事に比べて、特異な技術力	<input type="checkbox"/> 施工規模		
	<input type="checkbox"/> 構造物固有	<input type="checkbox"/> 複雑な形状の構造物 <input type="checkbox"/> 既設構造物の補強、特殊な撤去工事	
	<input checked="" type="checkbox"/> 技術固有	<input type="checkbox"/> 特殊な工種及び工法 <input checked="" type="checkbox"/> 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用	
	<input type="checkbox"/> 自然・地盤条件	<input type="checkbox"/> 湧水・地下水の影響 <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持基盤の状況 <input type="checkbox"/> 制約の厳しい工事用道路・作業スペース等 <input type="checkbox"/> 気象現象の影響 <input type="checkbox"/> 地滑り、急流河川、潮流等、動植物等	
	<input type="checkbox"/> 周辺環境等、社会条件	<input type="checkbox"/> 埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 鉄道・供用中の道路・建築物等の近接施工 <input type="checkbox"/> 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 <input type="checkbox"/> 作業スペース制約・現道上の交通規制 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理	
	<input type="checkbox"/> 現場での対応	<input type="checkbox"/> 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 施工状況（条件）の変化への対応	
<input type="checkbox"/> 創意工夫	<input type="checkbox"/> 準備・後片付け		
<input type="checkbox"/> 「高度技術」で評価するほどでない軽微な工夫	<input type="checkbox"/> 施工関係	<input type="checkbox"/> 施工に伴う機械、器具、工具、装置類 <input type="checkbox"/> 二次製品、代替製品の利用 <input type="checkbox"/> 施工方法の工夫 <input type="checkbox"/> 施工環境の改善 <input type="checkbox"/> 仮設計画の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理、品質管理の工夫	
	<input type="checkbox"/> 品質関係		
	<input type="checkbox"/> 安全衛生関係	<input type="checkbox"/> 安全施設・仮設備の配慮 <input type="checkbox"/> 安全教育・講習会・パトロールの工夫 <input type="checkbox"/> 作業環境の改善 <input type="checkbox"/> 交通事故防止工夫	
	<input type="checkbox"/> 施工管理関係		
	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 社会性等	<input type="checkbox"/> 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 地域の自然環境保全、動植物の保護 <input type="checkbox"/> 現場環境の地域への調和 <input type="checkbox"/> 地域住民とのコミュニケーション <input type="checkbox"/> ボランティアの実施 <input type="checkbox"/> その他	
地域社会や住民に対する貢献			

1. 該当する項目の口にレマーク記入。

2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工事番号	2巻建土第148号	請負者名	老岐土木工業(株)	①
工事名	1級市道深江筒城線舗装工事			
項目	高度技術	評価内容	新工法及び新材料の適用	
提案内容	アスファルトフィニッシャーの情報化施工による品質、出来栄への向上			

（説明）

本工事では、アスファルト舗装の敷き均し機械（フィニッシャー）に新工法であるレベリングセンサーを装着して施工を行った。

この機能は、現況高と計画高を自動で認識し、計画厚を算出、それに併せて敷き均しが可能となることから、平坦性の高い施工ができた。また、高さ設置作業などが不要となるため、工程の短縮、必要な作業人員の削減に繋がった。

（添付図）



説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。



総延長 191m  
平均幅員 20m  
既設舗装部は、剥取(厚み約5cm)後  
不陸修正完了後舗装  
最大掘削約10cm

工事終点  
No. 9+14.868

老道深江前城線

水道2ホールの  
路線

HTT  
電気2ホールの

改良工事  
最大掘削約40cm

原道石田前代又停

工事起点  
No. 0+3.700

県道石田前線

No. 0

		総括監督員 又は 担当課長等	主任監督員	監督員
			浦川	岩

現場代理人	主任技術者 又は 監理技術者
岩	岩

## 工 事 打 合 せ 簿

発議年月日	発議者	発議事項			
令和3年1月25日	<input type="radio"/> 発注者	<input type="radio"/> 指示	<input type="radio"/> 通知又は提出	<input type="radio"/> 協議	<input type="radio"/> その他 ( )
	<input checked="" type="radio"/> 受注者	<input type="radio"/> 承諾願	<input type="radio"/> 通知又は提出	<input checked="" type="radio"/> 協議	<input type="radio"/> その他 ( )

工事番号	2号建土 第148号	受注者名	壱岐土木工業株式会社
------	------------	------	------------

工事名	1級市道深江筒城線舗装工事
-----	---------------

(内 容)

設計図書並びに参考資料との照査の結果

設計図書並びに参考資料に既存の本線アスファルト舗装版の切断の記載が無く、そのまま施工を行ってしまうと現道を損傷してしまう恐れがある為、アスファルト舗装版切断並びに汚泥処理を施工したいと思っておりますので協議のほどよろしくお願い致します。

- ・アスファルト舗装版切断 32.3m(起点18.4m・終点4.4m・NO.1取付道路7.2m・NO.0+5歩道2.3m)
- ・建設汚泥処理 0.04m<sup>3</sup>
- ・運搬処理 (有)藤尾

別紙詳細図を添付致します。

後日通知  
概算金額 約

万円

の見込み (直接工事費にて算定)

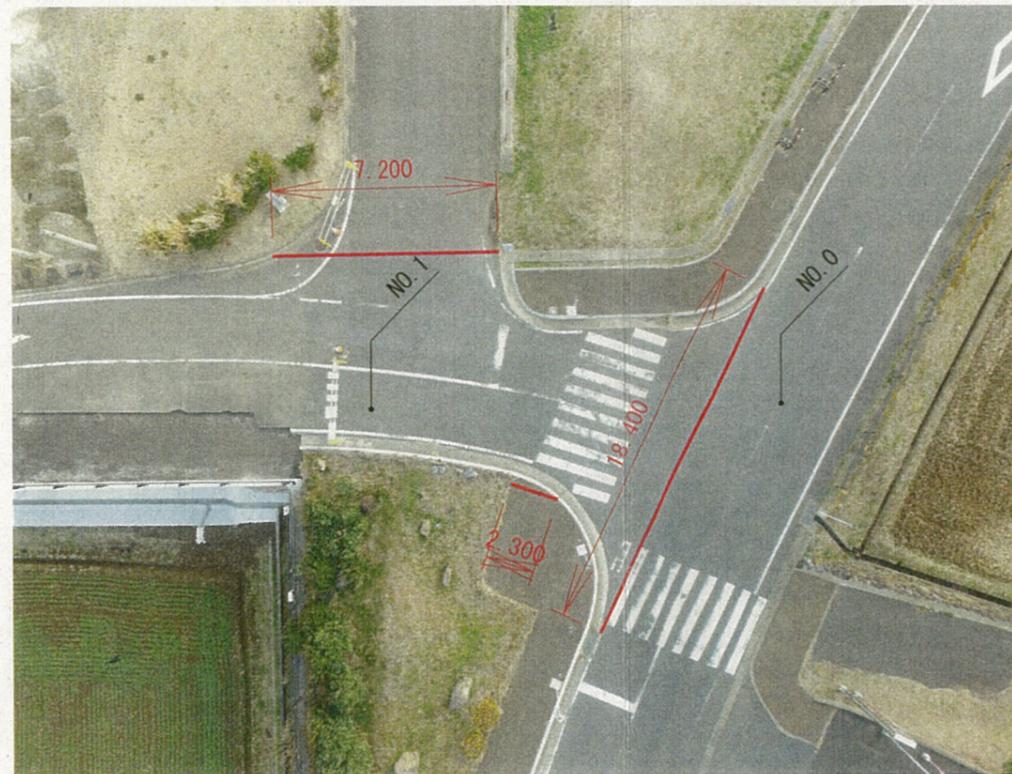
処 理 ・ 回 答	発 注 者	<p>上記について、<input checked="" type="checkbox"/>指示 <input type="checkbox"/>承諾 <input type="checkbox"/>受理・確認 <input type="checkbox"/>その他 とします。</p> <p>処理内容 回答欄</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="font-size: small;">提案のとおり施工可ふと 設計変更対象とする。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 後日通知 概算金額 約 2 万円 (増)・減 の見込み (直接工事費にて算定)</p> <p style="text-align: right;">令和 3 年 / 月 25 日</p>
	受 注 者	<p>上記について、<input type="checkbox"/>承諾 <input type="checkbox"/>受理・確認 <input type="checkbox"/>その他 とします。</p> <p>処理内容 回答欄</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p style="text-align: right;">令和 年 月 日</p>

既設アスファルト舗装版切断位置確認図

終点部



起点部



既設アスファルト舗装版切断距離合計 32.3m

建設汚泥処理 0.032m<sup>3</sup>

建設汚泥運搬処理 (有) 藤尾 運搬距離4.8km

追加工事の説明資料として  
添付。

# 区画線協議資料

1 級市道深江筒城線

